

**板倉卓造** ジャーナリスト。慶応義塾で国際法を教えつつ、大杉栄虐殺事件の暴露攻撃など{時事新報}で健筆。

いたくらくぞう

沖縄県編入・1879 = 板倉理郎の長男として広島県三上郡庄原村(庄原市)に生まれる。

**明治14年政変**1881 = 2歳 :

初の対等条約1888 = **9歳** :

**帝国憲法発布**1889 = 10歳 :

**日清戦争始**・1894 = 15歳 :

八幡製鉄始・1897 = **18歳** :

**日比谷公園**・1903 = 24歳 : 慶応義塾大学部政治科を卒業、普通部教員となる。

**日露戦争終**・1905 = 26歳 : {時事新報}の社説記者となり、

満鉄発足・・1906 = **27歳** :

**韓国反日暴動**1907 = 28歳 : 欧米に留学、

韓国併合・・1910 = 31歳 : 帰国、\_大学部教員となり、国際法・政治学を担当。

**明治天皇没**・1912 = 33歳 :

温蔚あわせもつ独特の風格と深遠な学識で学生を魅了したと言われる。

21ヶ条要求・1915 = **36歳** :

福沢諭吉の流れをくむ自由主義で、大正時代には\_軍縮を主張して軍部ににらまれ、

**原敬首相暗殺**1921 = 42歳 :

水平社結成・1922 = 43歳 : {時事新報}を退社したが、

**関東大震災**・1923 = 44歳 : \*復して主筆となる。<関東大震災>の時、大杉栄虐殺事件を暴露攻撃し、憲兵隊におどされた事件は有名。

護憲三派圧勝1924 = **45歳** : また、\_国際法規の歴史的な成立過程の研究で、功績をあげ、「近世国際法史論」で、

**円本時代始**・1926 = 47歳 : 「国民政治時代」。\_法学博士の学位を受ける。

共産党事件・1928 = 49歳 : 以後4年、法学部長。

**満州事変**・・1931 = 52歳 :

国際連盟脱退1933 = **54歳** :

芥川直木賞始1935 = 56歳 : 「国際紛争史考」。\*{時事新報}を退社。

二二六事件・1936 = 57歳 : 以後4年、再び法学部長。

**日中戦争始**・1937 = 58歳 :

**日米開戦**・・1941 = 62歳 :

・・・・・1942 = **63歳** :

年金+総武装 1944 = 65歳 : 慶応義塾大学教授を辞し、名誉教授となる。

**敗戦**・・・1945 = 66歳 : 用紙割当委員会委員。

新憲法公布・1946 = 67歳 : \*{時事新報}を復刊し、社長兼主筆となる。

\_吉田内閣の政策を支持し、戦後日本の政治・外交の進路に大きな役割を果たした。

**朝鮮戦争始**・1950 = 71歳 : 会長を勤める。

**独立回復**・・1951 = **72歳** : \_日本新聞協会より第1回新聞文化賞を受けた。

**55年体制始**・1955 = 76歳 : {時事新報}が{産経新聞}に合併するとともに、{産経時事}の論説委員長となったが、

**安保闘争**・・1960 = **81歳** : \*退社し、

TV宇宙中継始1963 = 84歳 : \_没した。